

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	625		600		600	
備蓄米	0		0		0	
飼料用米	27		30		30	
米粉用米	0		0		0	
新市場開拓用米	0		0		0	
WCS用稲	26		30		30	
加工用米	0		0		0	
麦	9	9	10	10	10	10
大豆	158		170		170	
飼料作物	42		50		50	
・子実用とうもろこし	0		0		0	
そば	0		0		0	
なたね	0		0		0	
地力増進作物	0		0		0	
高収益作物	26		28		28	
・野菜	21		21		21	
・花き・花木	4		6		6	
・果樹	1		1		1	
・その他の高収益作物	0		0		0	
その他	0		0		0	
・〇〇	0		0		0	
畑地化	0		0		0	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目 標	前年度（実績）	目標値
1	大豆 （基幹作物）	大豆300A技術等の取組 に対する助成	取組面積 単収	（令和7年度）158.0ha （単収）55.0kg/10a	（令和8年度）169.9ha （単収）110.0kg/10a
2	大豆, WCS用稲, 飼料作物 （牧草）（基幹作物）	団地加算	取組面積 労働時間	（令和7年度） 大豆48.3ha, WCS用稲 0ha, 飼料作物0ha （労働時間） 大豆13.0h/10a WCS用稲0, 飼料作物0	（令和8年度） 大豆50.0ha, WCS用稲 15.0ha, 飼料作物7ha （労働時間） 大豆11.5h/10a WCS用稲7.5h/10a, 飼料作物3.3h/10a
3	大豆, WCS用稲, 飼料作物 （牧草）（基幹作物）	作業集積	取組面積 労働時間	（令和7年度） 大豆158.0ha, WCS用稲 22.6ha, 飼料作物7.3ha （労働時間） 大豆14.0h/10a, WCS用稲12.0h/10a, 飼料作物5.0h/10a	（令和8年度） 大豆169.9ha, WCS用稲 30.0ha, 飼料作物8.0ha （労働時間） 大豆11.5h/10a, WCS用稲7.0h/10a, 飼料作物3.0h/10a
4	野菜, 花き・花木, 果樹 （具体的作物は別紙2のとおり）（基幹作物）	地域振興作物助成	地域振興作物 作物面積	（令和7年度）12ha	（令和8年度）15ha
5	WCS用稲, 飼料用米（基幹作物）	直播栽培への取組助成	取組面積 労働時間	（令和7年度）0.3ha （労働時間）15.0h/10a	（令和8年度）12.0ha （労働時間）14.0h/10a
6	飼料用米の生産ほ場の稲わら（基幹作物）	耕畜連携助成 （わら利用）	取組面積 飼料用米の作付面積の内、耕畜連携 助成（稲わら）が占める割合	（令和7年度）8.3ha （割合）31.0%	（令和8年度）60.0ha （割合）80.0%
7	麦（二毛作）	二毛作助成（麦）	取組面積	（令和7年度）9ha	（令和8年度）10.0ha
8	飼料用米（多収品種）（基幹作物）	飼料用米多収品種助成	取組面積	（令和7年度）22ha	（令和8年度）30.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:宮城県

協議会名:大衡村地域水田農業推進協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取組要件等 ※4
1	大豆300A技術等の取組に対する助成	1	5,000	大豆(基幹作物)	排水対策
2	団地加算	1	9,000	大豆, WCS用稲, 飼料作物(牧草)(基幹作物)	2ha以上の連坦した団地
3	作業集積	1	2,000	大豆, WCS用稲, 飼料作物(牧草)(基幹作物)	4ha以上の集積
4	地域振興作物助成	1	10,000	野菜, 花き・花木, 果樹 (具体的作物は別紙2のとおり)(基幹作物)	出荷・販売契約を行い収穫・出荷・販売
5	直播栽培への取組助成	1	5,000	WCS用稲, 飼料用米(基幹作物)	直播栽培
6	耕畜連携助成(わら利用)	3	6,000	飼料用米の生産ほ場の稲わら(基幹作物)	3年以上の利用供給協定を締結
7	二毛作助成(麦)	2	10,000	麦(二毛作)	大豆との二毛作に取り組み、収穫・出荷・販売
8	飼料用米多収品種助成	1	3,000	飼料用米(多収品種)(基幹作物)	出荷・販売契約を行い収穫・出荷・販売

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。